

令和7年度 第2回奄美市子ども・子育て会議 概要

開催日時	令和7年11月28日(金)9時30分～11時30分
開催場所	奄美市役所 5階大会議室
出席者 (11名)	加世田委員(副委員長), 當田委員, 吉村委員, 座安委員, 福田委員, 岩下委員 川内委員, 肥後委員, 三浦委員, 垣内委員, 西谷委員 以上11名
事務局	福祉事務所長, こども未来課, 福祉政策課, 健康増進課, 重点政策推進監, 学校教育課 住用総合支所市民福祉課, 笠利総合支所いきいき健康課
〈議題〉	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 報告 <ol style="list-style-type: none"> (1)第2期奄美市子ども・子育て支援事業計画の実績及び評価について (2)令和7年度奄美市の子育てに関するアンケート調査について(中間報告) (3)こども誰でも通園制度に関する奄美市の状況について (4)満三歳以上児限定小規模保育事業について (5)ファミリー・サポート・センター事業について 4 その他 5 閉会
審議内容(発言者、発言内容、審議経過、結論等)	
<p>進行 副委員長</p> <p>報告(1)第2期奄美市子ども・子育て支援事業計画の実績及び評価について</p> <p>事務局:こども未来課 資料1報告</p> <p>評価基準について及び基本目標ごとの達成率の出し方についての説明 基本目標ごと及び計画全体の達成率について報告 令和6年度強化した事業や昨年度から評価を見直した事業について説明報告</p> <p>委員からの意見(主な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育士・幼稚園教諭の確保、質の向上に力を入れてもらった。 ・ 奄美で保育実習する学生を大事にして、奄美で働きたくなる声掛けが必要。 ・ 0～2歳児は保育ニーズがあり、新規施設の検討が必要と書かれているが、地域型の定員割れについても考慮が必要。 ・ ペアレントプログラム事業は保育士の資質向上のためにも続けてほしい。 ・ 療育施設が増えたが、子の特性に合った施設利用につながっているかの課題もある。 施設が増えた分、横の連携が大事 ・ 保育所等訪問支援事業の円滑な運用のために、オンラインでの情報交換ができるとよい。 ・ 笠利地区でも校区内に気軽に遊べる場所が欲しい。 ・ 宇宿保育所は今後どのようなになるのか？ 	

- ・ 放課後児童クラブについては雨漏り改修など環境整備、受入児童数の適正化、指導員不足の課題。
- ・ 子育てや介護をしながら従業員が望む働き方ができるよう話し合う機会を設けている。
- ・ 幼稚園でも、保護者支援だけでなく、職員の働きやすさも意識したい。
- ・ 学校(教育)と福祉部署との連携が必要。不登校、いじめ、特別支援の課題についても、教育委員会と福祉部局の連携が大事。

報告(2)令和7年度奄美市の子育てに関するアンケート調査について(中間報告)

事務局:こども未来課 資料2,資料2-2報告

11/1~11/20に実施したアンケートについて報告。
回答者の属性による回答の特徴など詳細分析は年度内に報告の見込み。

質疑は以下の通り

- ・ 「今度もこの地域で子育てをしていきたい人」の割合が減っていることについてどう考えているか。
→ 基準値と今回アンケートは対象者や問方が異なるため、両方の推移を向こう5年検証していきたい。
- ・ 「奄美は子育てしやすいでしょう」との問いに、「病院がない」と現実的な声もある。子育てしたい人を増やす未来を目指すとき、このような若者の意見や会議での意見を活かすことが大事
→ アンケートでも、小児医療や救急医療体制の安定確保を求める声が多い。
ほかに自由意見でも様々な声が届いているので、関係者間で共有する。

報告(3)こども誰でも通園制度に関する奄美市の状況について

事務局:こども未来課報告

- ・ 12月議会での議決後、基準条例に合致した事業所を認定する。
- ・ 10月現在、4事業者が実施予定(R8.4~、R8中)と回答。
- ・ 認定については、次回子ども・子育て会議で協議する計画。
- ・ 事業者を認定した際は、市のHPなどで案内する。

報告(4)満三歳以上児限定小規模保育事業について

事務局:こども未来課 資料3報告

- 「満三歳以上児限定小規模保育事業」について、以下の考えで計画の変更はしない。
- ・ 3歳以上の教育・保育の量の見込みに対し確保方策が満たされている。
 - ・ 3歳以上児限定の小規模保育事業がゼロである。

報告(5)ファミリー・サポート・センター事業について

事務局:こども未来課 資料4報告

公募型プロポーザルを実施し、奄美市ファミリー・サポート・センター事業 優先候補者を選定。
株式会社なつのそら と契約を締結。
12月1日からセンターを開所する。

委員(ファミリー・サポート・センターアドバイザー)

12月からセンターを開所する。

これまでセンターを運営してきたうなりネットから会員への愛を引き継いで活動していきたい。

子どものあるなし、性別に問わず立ち寄れる場所を目指し、すべての壁を無くして、奄美市の子育て環境を良くしていけるよう取組みたい。

その他

事務局:いきいき健康課長 笠利地区の保育所について報告

公立の教育・保育施設が赤木名こども園、宇宿保育所、節田保育所、用安へき地保育所の4か所
私立は聖母保育園1か所

赤木名こども園と用安へき地保育所は、令和8年4月からかさりこども園として集約する。

かさりこども園と同校区にある宇宿保育所も、園児数が法定定員の20名を下回る状況が続いており、集約の議論がされている。

園児の減少のほか、保育士確保、保育環境改善など総合的にみて、令和8年度を最終年度として、令和9年度には集約という方向で議論を進めているということを報告する。

議事終了

こども未来課長挨拶

会議終了